

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		東京都立北療育医療センター城北分園			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に合わせた支援内容を検討し必要な教材を準備したり、訪問先の教具教材を活用した視点で支援を実施している。 ・訪問に際し問題点を事前に把握し、適切な職種が必要な教材などを準備するように工夫している。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・STは現状1名で対応しており、可能な範囲で調整し支援を行っている。支援先からのニーズは非常に高い。今後も接触に関するニーズは多く求められる。今後、人員を含め検討する必要がある。 ・保育所等訪問を専属で担当する職員配置は国基準に準じている（効率向上に寄与している）が、訪問支援は時間を要するため、院内業務との調整や増加するニーズへの対応に苦勞し、負担が増加している。業務の効率化に努め、（理想的には人員を増やすことで）対応力を高めていきたい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じた職種でカンファレンスを開催している。 ・工夫している点が情報共有されるとさらにいいと思う。 ・定期的に多職種で支援会議を行い問題が生じたときも適宜連携を図っている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所自己評価の保護者評価により把握し、業務改善に繋げている。 ・定期的な懇談会の開催、保育参観、多職種による親子学習会を開催するとともにいつでも相談に乗れる体制をとっている。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問実施後、報告書の作成により、支援担当職員の意見等を把握し、共通認識を図っている。内容により、スーパービジョンを実施している。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の実施により事業者関係者のご意見を踏まえ、業務改善につなげていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職場内外の研修や学会に参加する機会が確保されており、職員資質向上を図っている。 ・より多くの職員が研修に参加できるような職場環境の整備、人材の育成が必要。
適切な支援	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントが適切に行うことが出来るよう、事前観察時による子どもの様子の把握のほか、事前観察の情報のみにならないよう、外来リハビリテーションの様子も踏まえるなど、多方面からの情報収集に努めて行うようにしている。 ・保護者との面談、訪問先施設への事前訪問、分園でのリハビリの様子観察等でお子さんのアセスメント・保護者のニーズの把握を行い、支援計画に反映させている。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・方向性は支援担当者が示し、児童発達支援管理責任者が取りまとめ作成している。 ・事前訪問者に加え、担当外来リハビリテーション職員が意見を交換している。 ・現状の共通理解を深めるよう担当者会を支援ごとに行っている。 ・児童発達支援管理責任者の情報をもとに医師、理学療法士、言語聴覚士など多職種で検討している。 ・お子さんの個別支援に係る全ての職員でニーズや課題を共有し、支援内容の検討を行っている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問を行い、利用者ニーズ及び支援先ニーズを把握した上で支援計画を作成している。 ・訪問先によって環境も職員体制も保育方針も異なるため、事前訪問で意向を把握している。 ・意向を取り入れるよう、双方からの意見交換を活発に行うよう努めている。 ・訪問先の担当の意向を踏まえて計画を作成している。 ・訪問先施設への事前訪問で職員ニーズや困りごとを聞き取り、支援計画に反映させている。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援が行われている。 ・日々職員間でコミュニケーションがとられ、支援内容の打ち合わせを行っている。 ・計画書は各部門で共有し支援について検討して計画作成の意見を反映させている。 ・個別支援計画は事前に関係職員で内容を検討した上で作成し、計画に沿った支援を行っている。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたツールに加えて、行動観察等インフォーマルなアセスメントなど必要なアセスメントを加えて状況を確認している。

援 の 提 供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえながら具体的な支援内容が設定されている。 ・ガイドラインについて周知はあったが、再読したいと思う。 ・保育園での状況をきちんと把握し専門知識を生かした個々に合わせた具体的な助言を行い、その後状況が改善されているかを確認している。 ・ガイドラインを踏まえた支援内容を提案している。 ・個別支援計画の説明や契約締結の際に、ガイドラインに沿って支援内容を設定していることを保護者に説明する。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援実施に当たっては、関係職員で事前カンファレンスを実施し、チーム連携を図っている。 ・日々、コミュニケーションをはかり、支援内容を検討し、共有している。 ・それぞれの相談に合わせ、児童発達支援管理責任者を中心に支援内容とどの専門職が支援すべきかを検討しそれぞれの役割を果たしている。 ・支援を行う職員で事前の打ち合わせ（カンファレンス）を行い、支援内容を確認している。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援実施後、支援方法、内容について整理し、支援内容を共有し、さらなる支援の必要性等を検討している。
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の理念や支援手法を尊重し配慮しながら支援を実施している。 ・事前訪問で施設の意向や環境面を確認し、日々の活動の中で、無理なくできる支援を提案している。
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援報告書を作成し、支援の検証・改善に繋げている。 ・聞き取りに加え、写真、動画での記録も行っている。
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画説明時、支援前後には保護者と面談し、適切な見直しを行っている。 ・支援後も継続して支援できるように状況や意向の確認をしている。 ・訪問支援後、保護者と訪問先施設に状況確認を行い、更なる訪問支援の必要性等、適切な見直し・検討を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に関わる職員間で具体的な支援内容・発達状況・課題等の情報共有を行った上で、代表者が会議に参加している。
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な専門職がいる強みを生かし、保育園や学校での給食の食形態や介助の方法、一般医療機関へのサポートも必要に応じて行っている。 ・医師、ソーシャルワーカー・児童発達支援管理責任者・児童指導員が各分野での窓口となり、関係機関との連携を行っている。
	21	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との就学前後の連絡会を行い、就学後も必要時訪問する体制を整えている。 ・利用者の主な就学先と定期的に連絡会を開催しており、情報共有に努めている。 ・利用者の居住地域の就学相談担当や都教育委員会への情報提供を行っている。
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内外の研修への参加を促し、職員がスキルアップすることができる体制を心掛けている。（資質向上に努めている）
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区自立支援協議会子ども部会、足立区医療的ケア児ネットワーク協議会、足立区子ども発達支援事業所ネットワークに参加したり、できる限り連絡会議に参加して情報交換を行っている。 ・ソーシャルワーカーや児童発達支援管理責任者を中心に会議に参加している。
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援前に保護者からお子さんの状況を聞き取り、課題を確認している。訪問支援後に施設での様子や支援の方法などをフィードバックしている。
	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で利用できるプログラムや施設の情報があれば、園内掲示している。
	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に丁寧な説明を心掛けている。 ・定期的な懇談会を開き適宜説明を行い、質問の場を設けている。
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業案内資料に基づき、丁寧な説明を心掛けている。 ・事前訪問時に資料を持参し、趣旨や目的を理解していただけるように丁寧な説明を行っている。
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書を作成する前に丁寧に面談にて聞き取り、意向を確認しながら作成している。
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・説明する時間を設けた上、計画書を示し丁寧に説明し了承を得ている。

保護者等への説明等	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援の際にご家族から聞き取りを行い、必要に応じて助言等を行っている。 ・ご家族からの相談は随時受け付けており、相談内容に合わせた専門職が助言等を行っている。
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望に対して、地域支援等のご案内を行っている。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・運営規程の範囲内で迅速かつ適切に対応しよう心掛けている。 ・申し入れが同時期に複数あった場合は少しお待たせする必要があるが、おおむね適切に対応できている。 ・相談の内容に応じた専門職と連携して対応を行っている。ご意見・申し入れについては契約時に窓口を案内し、ご意見等についてはケースワーカーと連携し、対応している。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを適宜更新し保育所等訪問支援事業の案内を発信している。
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は施錠できる場所に保管するとともに、面談時は個別に部屋を用意するなど、個人情報が漏洩しないよう留意している。 ・「福祉局保有個人情報安全管理基準」及び「北療育医療センター城北分園個人情報保護方針」により適切に取り扱っている。
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・障害特性を十分把握した上で配慮した支援を心掛けている。 ・国籍の違う利用者に対し、理解をしやすいよう特に配慮している。
訪問先施設への説明等	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・OJTや研修を実施し、訪問支援員の経験年数や知識の差により支援の差がでないよう努めている。 ・電話での情報共有や訪問先から外来リハビリテーションの見学等も積極的に受け入れている。
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援実施後、一定期間ののちに再訪問支援若しくは電話によるフォローを実施している。 ・訪問支援実施後にカンファレンスを行い情報共有を行うが、カンファレンス時間が取れない場合は後日電話での情報共有に努めている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者より、報告書を提示し、丁寧に支援内容を説明し、共有を図っている。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報は施錠できる場所に保管するとともに、利用者の情報を共有する際は、第三者が入れない部屋を用意してもらうなど留意している。 ・「福祉局保有個人情報安全管理基準」及び「北療育医療センター城北分園個人情報保護方針」により適切に取り扱っている。 ・現在、紙媒体の書類で情報共有をしているが、改善に向けて今後検討していきたい。
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズに応じた専門職が助言を行っている。 ・支援の内容の理由などを丁寧に説明し御理解をいただいている。
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応については、契約書及び重要事項説明書に記載し、説明を行っている。 ・毎年、安全マニュアルを改訂し職員と利用者で共有している。訓練も定期的に行なって改善点を話し合っている。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先での支援のため、訪問先施設の安全計画に準じた行動をとる様、職員間で共有していく。 ・定期的に外部講師による研修を行っている。外部の専門職種とともに施設内を巡回し問題点があれば改善を行っている。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・事故等予防対策委員会を設置し対応している。保育所等訪問支援において、今までヒヤリハット事例はないが、事象が生じた場合は、インシデントレポートを作成、関係職員間で共有し、再発防止に努めている。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止及び身体拘束に関する研修を定期的に行い、知識の向上に努めている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要な場合、詳細に拘束を行う場面と拘束持続時間を支援計画に記載するとともに保護者の了解を得ている。